

新年のごあいさつ

新年あけましておめでと
うございます。町民の
皆さまにおかれましては、ご
健勝にて輝かしい新年をお迎
えのこととお慶び申し上げま
す。

また、日頃より本町行政運
営に対し、ご理解とご協力を
賜り、深く感謝申し上げます。
未曾有の被害をもたらした
熊本地震の発生から、今年で
2年を迎えます。

混乱期から復旧・復興期に
移行し、各自治体及び団体か
らの人的支援のお陰もあり、
道路や公的施設（町営住宅、
スポーツセンター・カルチャー
センター等）、農地の復旧工
事は、少しずつではあります
が、確実に進んでいます。

熊本地震の復旧・復興につ
きましては、昨年3月に策定
しました御船町震災復興計画
に沿って進めているところで
す。

本計画の策定に際しまして
は、地区座談会をはじめ、ア
ンケート調査や御船高校生と
の意見交換などを実施し、多
くの皆様から貴重な意見を収
集しました。

新年おめでとうございま す。

町民の皆様にはご健勝に
て、平成30年の新春を迎えら
れたことと心からお慶び申し
上げます。

また、日頃から町議会に対
してご理解とご協力を賜り深
く感謝申し上げます。

私は、昨年4月の第一回定
例会におきまして、議員各位
のご推挙をいただき、町議会
議長に就任し9ヶ月が過ぎま
したが、新しい年を迎えその
責任の重さを改めて感じると
ともに、御船町の更なる発展
のために引き続き努力してま
いりたいと決意を新たにしてい
ります。

さて、平成28年熊本地震お
よび同年6月の梅雨前線豪雨
災害から早いもので、2年を
迎えようとしております。昨
年を振り返りますと、日本全
国では台風の上陸や7月5日
から6日にかけて発生した九
州北部豪雨では、福岡県と大
分県に大量の降水をもたらさ
しました。災害などで犠牲とな

完成した計画では、基本理
念に「絆と共働を基調とした
復興」「未来へつながる復興」
の二つを柱に、▽被災者の生
活再建▽地域コミュニティの
再生▽災害に強いまちづくり
▽公共施設の復旧▽産業の発
展の5つに重点を置いてお
ります。

中でも、地震によりそれま
で住んでいた地域を離れるこ
とを余儀なくされた方々が大
勢いらつしやることから、地
域コミュニティの再生に力を
注いでおり、昨年4月に企画
財政課内に、コミュニティ推
進係を新設しました。人と人
のつながり、地域のつながり
が、災害に強いまちづくり
に繋がっていくのだと考えてい
ます。

また、災害に強いまちづく
りに関しまして、いよいよ防
災行政無線の整備に向け、動
き出しております。

近年、自然災害は多様化及
び局地化が進んでおり、大規

られました方々に哀悼の意を
表しご冥福をお祈りいたしま
すとともに、被災されました
皆様に対しお見舞い申し上げ
ます。

平成29年度は、復興元年と
位置づけ、熊本地震および6
月の梅雨前線豪雨災害からの
復旧・復興を加速させ、復興
の将来像として「みんなが夢
を持って住み続けられるま
ち」の実現に向けて、議会と
しても住民の生活再建を最優
先に、執行部とともに万全の
対応と国の関係機関に対し
て、補助金等を強く要望して
参りました。平成30年度は、
「震災復興計画」の復旧期の
3年目になります。町民の声
を広く聞き、中山間地の過疎
化や高齢化対策など集落再生
にも力を入れていきます。限
られた財源で町民の福祉向上
が図られるよう、町民の代表
機関として監視し又、提案も
していきたいと思っております。

なお、今後も、引き続き議
会基本条例の3つの理念「町
民とともに歩む議会」「行動

模災害時に無線設備自体が被
災しないよう、十分な耐災害
性を確保したシステムを構築
する必要があります。

平成31年1月から一部運用
開始、同年4月から全面運用
開始を目指していきます。

「住みやすい」「住んでよ
かった」と思えるような町を
創り上げ、これまでの御船町
よりもさらに発展した創造的
復興となるよう、職員及び関
係者一丸となって邁進してい
きたいと思っております。

最後に、本年も引き続き、
皆様方のご支援とご協力を賜
りますとともに、町民の皆さ
まにとって幸多き一年になり
ますことを祈念いたしました
て、新春のごあいさつといた
します。

する議会」「開かれた議会」
を継承しさらなる二元代表制
の確立を目指し取り組んでい
きます。町民の皆様には、こ
れまで以上に議会傍聴など積
極的にご参加いただき、議会
に対するご意見やご支援を賜
りますよう心からお願ひ申し
上げます。

年頭にあたり、この1年が
町民の皆さまにとって素晴ら
しい年でありませう心から
お祈りを申し上げます新春
のごあいさつとさせていただきます。

オール御船町議会
集落再生に力

御船町議会議長
田端 幸治
議会

「住みやすい」
「住んでよかった」と
思える御船町を創ります

御船町長
藤木 正幸
行政